

題材 「 ふえたり、へったり 」 1時間中の第1時

(1) 学習のねらい

自分で考えた式を言葉で説明しようとしている子どもたちがいくつかの考え方を比較することを通して、問題文の対象が増えているか・減っているかという新たな考え方に気付き、先に何がいくつ増えた/減ったかを考えてもよいということを理解することができる。

(2) 本時の学習材

パワーポイント

- 子どもたちがリンゴがいくつ増えたのかという問題を解くときに少し困っている様子が見られたところで、本学習材を提示する。
- 本学習材は、子どもたちが、「何がいくつ増えたか」という考え方を視覚的に理解できるように手助けするものである。この学習材により、何がいくつ増えたかという新たな視点での問題解決の方法を理解することが期待される。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 学習課題に対する自分の考えを学習カードに書く。	<p style="text-align: center;">学習問題</p> <p>りんごはいくつ増えたのか/減ったのかな。</p> <p>・順番に足して、引いて計算すればいいんじゃない。</p> <p>・わからない。</p> <p>○ りんごは結局全部で○個増えた/減ったんじゃないかな。</p>	10'	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習ワークを配布し、自分の考えを書いてもらう。 ○ 鉛筆が止まってしまった子どもには、ヒントを与え、一つは式が考えられるように机間指導をする。 ・ 面白い答えが出ている子どもを把握する。 <p>◇ 学習材を提示することで、問題文を再度認識し、どこに注目して考えればよいかということに気付くことができる。</p>
	<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p>パワーポイントを見ながらウサギさんのリンゴが、何個増えた/減ったかを考えよう</p>		15'	<p style="text-align: center;">学習材</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>パワーポイント</p> </div>
展開	2 考えた式を共有し、その式が何を表しているか言葉で説明する	<p>・ まだちょっとわからないな。</p> <p>○ りんごが何個増えた/減ったって考えればよいのかな。なんとなく分かってきたかも。</p>		
	3 パワーポイントをもとに理解を深める。	<p>○ きつねさんのリンゴはくまさんのリンゴより二個少ないから、ウサギさんのリンゴは2個増えるんだ！</p> <p>・ リンゴがいくつ増えたかに注目すると簡単だね。</p> <p>・ 難しい。わからないよ…。</p>	15'	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1で把握した子どもたちを中心に自分の考えた式についての考え方を説明してもらおう。 ・ 子どもたちが説明してくれたことをほかの子どもたちが理解できているか適宜確認する。
終末	4 学習活動を振り返り、学習カードに記述する。	<p>・ リンゴがいくつ増えたかということをもとに計算するということが分かった。</p> <p>・ ほかに解法があるのかな。</p> <p>・ ちょっと難しかったな。</p>	5'	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少し文章が変わった類似問題を用意しておく。(HW) <p style="text-align: center;">評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>リンゴが減ったか/増えたかという考え方を理解できたか、子どもたちの学習カードや発言から評価する。</p> </div>